

百物語
さらやしき

ガバナー月信

Governor's

Monthly Communication

VOL.
2

2023.8.1

Rotary International District 2690 [2023-24]

2023-24年度
国際ロータリー会長
ゴードン R. マッキナリー

国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)
2023-24年度地区ガバナー
石倉 貞昭

Contents

「会員増強・新クラブ結成推進月間」 によせて	2
2023-24年度地区研修リーダー ごあいさつ	3
ガバナーエレクトごあいさつ	4
地区担当委員長ごあいさつ	5-7
地区大会開催にあたり	8



世界に希望を生み出そう

葛飾北斎「百物語 さらやしき」島根県立美術館蔵

「会員増強・新クラブ結成推進月間」 によせて

地区ガバナー

石倉 貞昭 Ishikura Sadaaki



8月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」です。そもそも会員増強は何故必要でしょうか。それは、ロータリークラブに限らず、すべての会員組織では、何もしなければ、会員数は確実に減少して行きます。特に高齢化が進む地域においては、減少するのが必然の流れであることはご理解いただけると思います。

会員減少が続けば、人的、財政的な面から組織の運営がむずかしくなり、消滅の危機をむかえる事になりかねません。

そうなれば、会員同志の親睦も、地域社会での奉仕活動も出来なくなります。地域からロータリーの灯が消えるような事になれば、その社会的損失ははかり知れません。そうならない為に私達は日々会員増強の努力を続けなければなりません。仲間を増やして行かねばなりません。

今年度の会員増強目標は、各クラブ純増1名以上、地区の会員数を3,000人に回復させる事といたしました。(地区最大の会員数は1996年5月末の4,296人です。)2022年7月1日の会員数は2,882人、2023年4月末の会員数は2,925人まで回復して来ています。友末年度のご努力に敬意を表したいと思います。会員数3,000人回復まであとひと息です。2023年度地区内全クラブ全会員の努力でぜひ目標を達成いたしましょう。

1989年の規定審議会で、ロータリークラブの会員資格を男性のみに限定する規定が改められ、女性の入会が認められました。翌年には全世界で2万人もの女性会員が誕生し、その後も女性会員は増えつづけ、2022年6月現在では約30万人に達し、女性会員の割合は約25%になりました。

日本の女性会員の割合は約7%、地区では7.3%

です。多様性のあるクラブづくりへ向けての女性会員の増強は「有」だと思います。

尚、ロータリーの友2022年8月号では会員増強特集として「女性会員を増強しよう」が取り上げられ、全国の女性会員を対象に行ったアンケート結果の一部が紹介されています。(前回は2022年4月号に掲載)女性会員の心のうちを聞けば、会員増強、維持につながる手がかりがあるはずです。ぜひ、このアンケート結果を読み返して女性会員増強の参考にさせていただきたいと思います。

次に若年層(男女共)の会員増強には衛星クラブの設立が最適だと思います。若年層がロータリークラブへの入会をためらう理由には、1. 会費、2. 出席義務(例会開催頻度)、3. 例会スタート時間だと言われています。

衛星クラブは8人の会員で結成可能ですし、会費は月5,000円程度でも運営可能です。例会は月2回、例会時間は夕方や土・日に設定することも出来ます。ぜひ衛星クラブの設立をご検討下さい。

とは言っても従来からの会員増強策がダメだと言う訳ではありません。要は男女の区別なく積極的に声をかけ、会員増強につなげ、入会後の新会員の研修につとめ楽しいクラブ運営につとめましょう。

まちがっても「ロータリークラブは金持ちのヒマ人の道楽クラブ」などと揶揄されないよう、地域に役立つ奉仕活動をしっかりと行い、正しい広報により、公共イメージの向上につとめる。地域におけるロータリークラブの好いイメージを向上させる事が会員増強のツールである事を認識しましょう。

挨拶に代えて

2023-24年度地区研修リーダー

古瀬 俱之 Furuse Tomoyuki



PETSの時にお話した事を再度お伝えしたいと思います。大谷翔平選手が花巻東高野球部に入部した時、監督から「高3の時の目標を書いて提出しなさい」と言われ提出したのが図1のマンダラチャートです。9×9の81マスで構成される目標達成ツールです。ステップ1は、まず81マスの中心に「成し遂げたい事、すなわち大谷の場合は「ドラフト1位指名8球団以上」を記入し、その次のステップ2は周囲のマス目一つ一つに、それを達成するため必要な「8つの要素」を書き、最後のステップ3はその「8つの要素」を実現するため、それぞれに「8つの具体的な行動」を書き出しました。すると、漠然とした思考が整理され、なすべき事が明確になり、しかも可視化されました。

さて、皆さんの所属クラブについて、ステップ1に「クラブの活性化」を記入し、独自のマンダラチャート作成にチャレンジしてみてください。参考までに私が考えたステップ2、「そのための8つの要素」を図2に示します。もちろん、正解はありません。皆さんは独自にステップ2、ステップ3を考え、81マスを埋めてください。そして、クラブ内で意見交換しあい、統一したマンダラチャートを作成してください。完成したらクラブ活性化に向けて会員一丸となってぜひ実行に移してください。数年後には会員満足度が高まり、クラブが変わると思います。地区研修委員会は、何かあればいつでもご支援致します。

体のケア	サプリメントをのむ	FSQ 90kg	インステップ改善	体幹強化	軸をぶらさない	角度をつける	上からボールをたたく	リストの強化
柔軟性	体づくり	RSQ 130kg	リリースポイントの安定	コントロール	不安をなくす	力まない	キレ	下半身主導
スタミナ	可動域	食事夜7杯朝3杯	下肢の強化	体を開かない	メンタルコントロールをする	ボールを前でリリース	回転数アップ	可動域
はっきりとした目標、目的を持つ	一喜一憂しない	頭は冷静に心は熱く	体づくり	コントロール	キレ	軸でまわる	下肢の強化	体重増加
ピンチに強い	メンタル	雰囲気になれない	メンタル	ドラ1 8球団	スピード 160km/h	体幹強化	スピード 160km/h	肩周りの強化
波をつくらない	勝利への執念	仲間を思いやる心	人間性	運	変化球	可動域	ライナーキャッチボール	ピッチングを増やす
感性	愛される人間	計画性	あいさつ	ゴミ拾い	部屋そつじ	カウントボールを増やす	フォーク完成	スライダークレ
思いやり	人間性	感謝	道具を大切に使う	運	審判さんへの態度	遅く落差のあるカーブ	変化球	左打者への決め球
礼儀	信頼される人間	継続力	プラス思考	応援される人間になる	本を読む	ストレートと同じフォームで投げる	ストライクからボールに投げるコントロール	奥行きをイメージ

〈図1〉

	親睦			認知度向上				奉仕活動
			親睦	認知度向上	奉仕活動			
	クラブ運営		クラブ運営	クラブ活性化	R・ファミリー			R・ファミリー
			会員増強	会員満足度	学習			
	会員増強			会員満足度				学習

〈図2〉

(出所) スポーツニッポン



地区ガバナーエレクト年度を迎えて

地区ガバナーエレクト

榊原 敬 Sakakibara Takashi



2023-24年度地区ガバナーにご指名いただき光栄に存じます。岡山南ロータリークラブ会長を2023年6月30日まで務め（クラブスローガンは「笑顔の輪を伝播しよう」）、脇目もふらず慌ただしく駆け抜けたように感じます。地区ガバナーの準備に際し、さまざまな会議があり、My Rotaryの自習をこなしたところです。「頼まれるうちが華」と考え、少しでもこれまでお世話になった方々のお役に立つことができればと思います。責任を持って粛々と全うしてまいります。

今、コロナ禍から少しずつ脱却し、経済活動が回復しつつあるように感じます。感染症法上の扱いも第2類相当から第5類となり、インバウンドを含め人流が戻ってきています。世界経済に目を向けると、円安が進み外国人労働者が他国に流れています。国内では出生率の低下・人口減少、DX社会の技術革新において、地方に影響を落としています。こうした状況を踏まえ、他力本願ではなく、自力でどうにかしないとダメだという自覚が大切だと痛感しています。時代の変化に適応し組織として生き残るために、新しい考え方に基づく実践を取り入れていきたいと思っています。

第2690地区は他地区より会員減少率が少ないと言われるものの、会員数の減少傾向に歯止めがかかりません。物価の上昇を受け、RI人頭分担金は段階的に引き上げられていますが、地区資金等の地区関係費は据え置かれたままです。地区の運営は、会員数の減少とともに厳しさを増しています。前例踏襲ではなく、身の丈に合わせた対応を考える時期に来ています。歴代地区ガバナーとそのホストクラブの会員が熱意と献身的な努力で、地区大会の成功を収められたことに感謝と敬意を表したいと存じます。2023年10月には、石倉地区ガバナーが松江市で地区大会を開催されます。松江しんじ湖ロータリークラブは第2690地区で2番目に若いクラブであり、ご苦労が多いことと拝察申し上げます。こうした活動のなかにこそロータリーの魅力と底力が凝縮されており、次の世代に継承していかないといけないと思います。

今、地区ガバナーエレクトとしてどれだけ準備ができたのか、これでいいのか不安を感じています。RIは100年余の歴史を経て、自ら変革を目指しています。これまでのやり方を修正し、DEI（多様性、公正さ、包摂的）の概念で、組織の活性化を推進しています。すべての会員にそれぞれに活動の場と居場所を与え、ロータリーの裾野を広げようとしています。ロータアクトはロータリアンと同様にRIに発言し補助金を獲得し、ともに活躍の機会が与えられました。伝統とは変革の連続であり、これがないければ時代の荒波を乗り越えられないと思います。女性会員の増強にとどまらず老若男女が力を合わせて、地域社会をよくする活動を後押ししたいと思います。ポリオプラスプログラムでは、ポリオ野生株の感染者が今年すでに3人発生しました（昨年は年間30人）。ポリオ根絶の条件は、野生株の感染者数が3年間ゼロであることです。一方、ビル&メリンダ・ゲイツ財団はロータリーのポリオプラス寄付5000万ドルに対し、2倍額1億ドルを拠出することを2026年まで延長しました。これまで20億ドル以上の資金が投入されてきました。こうした経緯から、2024年はポリオ野生株の感染者数をゼロに抑え込む極めて重要な年になります。しっかりと説明責任を果たし、会員の皆さまのご協力を賜りたいと思います。

2024-25年度の地区大会は、2024年10月6日、岡山ドームで開催いたします。延原正パストガバナー（2005-06年度）、佐藤芳郎RI理事（2015-16年度）の地区大会と同じ場所です。経費的には厳しいものの、地区の会員の皆さまに喜んでいただけるよう知恵を絞って工夫を凝らしてまいります。これまでの地区大会の形式にとらわれず、新たな挑戦に取り組みます。同時に、実りのあるメッセージを発信したいと考えています。

なお、例年11月の第1回次期ガバナー補佐会を9月30日に行う予定です。顔合わせではなく実務の準備期間を設け、ガバナー補佐の役割・機能強化を進めてまいります。微力ながら、新しい風を吹き込んでいきたいと思っております。何とぞご協力をお願い申し上げます。

地区担当委員長ごあいさつ



地区会計長・地区資金委員会委員長
森脇 宏

石倉貞昭ガバナー年度の地区会計長を務めます森脇宏です。

地区会計長・地区資金委員長として、クラブと地区を守るためにリスクの軽減につとめ、地区会員の皆様からお預かりした資金を、地区のために適切な管理を致します。また、地区資金および地区ガバナーの経費において無駄のない適正な管理を行い、正確な記録による財務報告書を作成することに努めたいと思います。宜しくお願い致します。



地区会員増強委員会委員長
平川 和良

地区会員増強委員長を務めさせていただきます平川和良です。

会員増強はクラブ運営には重要な問題であり、各クラブにおいても永遠のテーマである事は間違いありません。

コロナ禍において、更に難しくなってきたのではないかと思います。

しかしながら、今年から制限の無い社会になりました。

この3年間に出来なかった活動も出来るようになりましたので、是非ロータリーの楽しさ、活動等をロータリアン以外の方々にも理解してもらい、会員増強に繋がる一年にしたいと思います。どうぞ、よろしくお願いします。



地区雑誌・広報・公共イメージ委員会委員長
和田 史朗

例えば、一匹のアメンボが水上に浮かんで滑走している。しかし水面は静かで殆んど変化はない。では彼らが百匹集まって動くとしたら…。景色は俄かに一変し、波紋が次々と起こり、躍動し、光を乱反射し、賑やかな夏となる。あくまで上手な比喻ではないが、公共イメージの向上があるとすれば、波紋を起こすアクションが必要であるということになる。

では何をなすべきなのか。

そんな時、活用してほしいのが『ロータリーの友』である。この雑誌こそ、地球の生きとし生けるものの幸せを願うロータリアンをつなぐ最も身近なネットワークツールなのだから…。

この3年間、コロナによって多くの活動が休止に追い込まれ、ロータリーを取り囲む状況は一変した。今その霧も晴れようとするなか、私たちは明るく、楽しく前進していかなければ、と思うところである。



職業奉仕委員会委員長
高井 初子

職業奉仕とはどのように理解・解釈したら良いのか、平成7年1月ロータリークラブに入会させて頂いた頃、長老ロータリアンの

一人から【職業奉仕】とは自分の職業に誠心誠意取り組む事だ」と教えられました。今考えてみると、深い意味があったのだと思います。ご承知のように稲森和夫氏他経営の神様と称される方々が、ご自分の経験から学ばれた多くの教訓を書籍や日めくりCD等で紹介されています。零細企業の経営者だった私は、それらの教えや考え方に幾度救われたことでしょうか。人々は様々なツールで多くの知識を蓄えてきました。その知識を行動に落とし込む事こそ、自分の職業・社員教育・社会貢献に繋がる一番大切な事ではないでしょうか。「四つのテスト」は素晴らしいです。我がクラブも唱和しておりますが、果たして実践しているかと言えば大いに疑問です。「四つのテスト」を念頭に行動することは立派な職業奉仕であり、ロータリアンとして自信と誇りに満ちたその後姿は、会員増強にも繋がるはずですよ。

浅学菲才な高井でございますが、今年度何卒宜しくお願い申し上げます。



地区社会奉仕・RCC委員会委員長
立脇 通也

社会奉仕はロータリーにおいて地域社会に認知してもらえる活動であり、地域の発展に寄与し、公共イメージの向上とともに仲間を増やす原動力となります。

今年度、石倉貞昭ガバナーは地区スローガンに「希望の種を播きましょう。育てましょう。」を掲げ、公共イメージの向上に心がけ、地区やクラブの有意義な社会奉仕活動が進められるため、社会奉仕プロジェクト及び地域社会共同体（RCC）の現状と今後の推進に必要な意見集約を諮ってまいります。

各クラブ、各会員の積極的な活動を願います。

各クラブ、各会員の積極的な活動を願います。



地区国際奉仕委員会委員長
上田 恭己

第2690地区国際奉仕委員長を拝命しました松江しんじ湖ロータリークラブの上田恭己と申します。

ロータリークラブにおける国際奉仕委員会は、個々のクラブの国際奉仕活動を推奨し、より多くのクラブが国際奉仕活動に参加できるように推進することを目的としております。目標とするキーワードとして①複数 ②継続 ③共同を掲げております。国際理解と親善を目的とする奉仕活動、水環境を整備する支援、教育用品支援等々様々な分野でのプロジェクト活動を単年度ではなく長期的視点から、その必要性を地区全体で吟味し、共有していくことが求められます。

同時に、援助を受ける側のみがメリットを享受するだけではなく、参加するロータリアン自身もプロジェクト推進を通して体感できる「価値」を、他のロータリアンとシェアすることが地区全体の国際奉仕への「参加」に繋がるものと考えます。

地区内の各クラブの皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



地区米山記念奨学委員会委員長

又賀 敬子

米山記念奨学委員会の委員長を拝命致しました松江しんじ湖ロータリークラブの又賀敬子でございます。

米山奨学会は国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することを目的にした日本ロータリー独自の奉仕事業です。その活動は70年前（1952年）から続けられ、今日に至っています。近年は毎年900名に近い優秀な留学生に奨学金を支給し、学業の支援と同時にカウンセラーとの交流及び例会出席によりロータリー活動への理解を深めてもらっています。活動の成果は数字で計ることは出来ませんが、必ずや世界平和と奉仕の精神を広めていることと思います。2690地区は今年度27名の奨学生を受入れ、また来年度に向けて20名の奨学生の選考・受入れ準備を進めています。奨学会の活動は会員の皆さまのご支援と寄付によって成り立っています。寄付につきましては今年度も特別寄付1万円/人の目標を掲げています。ご協力宜しくお願い致します。



地区青少年交換委員会委員長

中村 寿男

本年度、地区青少年交換委員長をさせていただきます中村寿男です。

青少年交換はロータリーが青少年を対象とする奉仕の一環として毎年実施されている伝統ある事業活動です。コロナ禍の為に3年ほど制限を受けてまいりましたが、本年度から完全な活動が可能になりました。成長期にある青年が海外生活により直接の長期の異文化体験を経験することは本人の人間として幅を大きく広げます。実は私もLOTEXであり、実感いたしております。またこの交換事業にかかわられる各ロータリークラブの皆さんにも貴重な異文化体験ができると思います。この素晴らしいロータリーの伝統ある事業をこの一年間精一杯活動推進してまいりますので、どうぞ皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。



地区青少年奉仕・RYLA委員会委員長

天野 正道

本年度、地区青少年奉仕・RYLA委員会委員長を務めます、松江東ロータリークラブの天野正道と申します。

ロータリークラブ入会以来、インターアクトクラブの事業に関わってきましたが、インターアクターや顧問教師と関わりを通じて、これからの地域は彼ら青少年の関わりが必須だと感じています。

地区青少年奉仕・RYLA委員会では、ロータリー青少年指導者育成プログラム（RYLA）を実施し、次代をになう若い人たちが、新しい友人をつくり、楽しみながらリーダーシップのスキルを身に付け、奉仕の価値観を学ぶ機会を創出します。現在の2690地区のプログラムを見直し、より時代に即したプログラムを構築してまいります。

多くの皆様から、ご理解・ご支援を頂きますよう宜しくお願いします。



地区インターアクト委員会委員長

野島 和朋

今年度地区インターアクト委員会委員長を務めさせていただきます。松江南RCの野島和朋です。インターアクトが何をやって

いるか、ロータリアンの皆さんにもあまり知られていないかもしれません。インターアクトクラブは、ロータリーの支援を受けて設立される12～18歳の中学生の奉仕クラブです。ボランティア活動をするほか、地区大会や指導者講習会などもあり、他の学校のクラブとも交流しながら、活発に活動しています。中高生にとって、指導力を養い、奉仕の精神を身につける貴重な機会です。インターアクトに参加していたことが、就職や進学にあたって有利に働くとも言われています。もっとも、ここ数年はコロナの影響で、人と接すること自体が制限され、思うように実施できなかった部分があります。そんな中でも、各自知恵を絞り、オンラインを活用するなど工夫してまいりました。ようやく日常を取り戻しつつある今年度は、より一層活躍の場が増え、インターアクトの発展が期待できると考えております。1年間、どうぞよろしくお願い致します。



地区ローターアクト委員会委員長

大内 茂

【ローターアクターの皆さんと共に、活動に取り組んでいきたい】

ローターアクト委員長を拝命しました、松江しんじ湖ロータリークラブの大内茂です。ローターアクトクラブは、18歳以上の若い学生や職業人が集まって、クラブの運営・奉仕プロジェクトを自ら企画・運営する中でリーダーシップを育みながら、地域社会のリーダーと意見交換したり、楽しく奉仕活動を行い、また、スポンサーのロータリークラブがローターアクトを支援・指導されています。2690地区には9つのクラブがあり、課題は会員増強とお聞かしています。

◆近年、ローターアクトクラブはロータリークラブと同じく、国際ロータリクラブ（RI）の加盟クラブになりました。つまり「親子の関係」から「兄弟の関係」に変わりました。ロータリークラブの例会にロータリアンを介さずに出席できるようになりました。

◆私はローターアクトクラブの例会や奉仕活動・事業を見に行ったりして、ローターアクターとコミュニケーションを図りたいと思っています。そして、ロータリアン、ローターアクターが互いを尊重し、奉仕活動に取り組んでいきたいと思っています。



地区ロータリー学友会委員会委員長

河原 八郎

今年度、地区学友会委員会委員長を拝命しました松江RCの河原八郎でございます。地区委員会の活動はロータリーと学友の接点

を持つことにあると考えます。松江RCでは中国地方初になるヤングリーダーズロータリー衛星クラブが設立され、活発な活動が行われ次のロータリアンが育っています。また、私も今までベトナムと中国の米山奨学生のカウンセラー行った経験を基に、RC会員と衛星会員、米山奨学生の交流を積極的にサポートしてきており、ベトナムからの米山奨学生は現在でも交流が続いており、大阪で就職後も学友会に加入してベトナムとの交流の懸け橋にならんと活動をしています。このような活動を2690地区に広げる広報や他のRCにおいて先進的また有意義な活動をご紹介して行ければと考えています。コロナも一段落して海外や地区外との交流も増えてくるものと考えます。不安定な世の中だからこそ、RCと学友との交流経験がきっと役に立つものと考えますので、RCの皆様におかれましては、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



地区平和フェローシップ・奨学金小委員会委員長
浜崎 晃

今年度、地区平和フェローシップ・奨学金小委員会委員長を務めさせていただきました松江しんじ湖RCの浜崎晃と申します。

本小委員会は地区補助金・グローバル補助金を活用した奨学生・平和フェロー奨学生の選考が主な役割であります。

私は昨年度の任期中で本小委員会の副委員長となりました。副委員長となって直ぐに2023-24年度ロータリー財団奨学生の選考に携わりました。初めて審査会に参加し、応募者の熱意に感動したのと同時に審査者としての責任の重さを感じました。

本年度は委員長として将来の世界平和と開発のリーダーとなり得る人材輩出の一助となるよう尽力致します。

皆様のご協力をよろしく申し上げます。



地区補助金小委員会委員長
山口俊昌

今年度、地区補助金小委員会委員長を務めさせていただきますしんじ湖RC所属の山口俊昌と申します。3年前の当2690地区の年次

基金への寄付、および恒久基金の運用益の50%がDDFとして地区補助金、グローバル補助金と寄贈に利用されます。当委員会はこの内、地区補助金を利用したプロジェクトやボランティアのプログラムの申請、報告、支払いのお手伝いをしております。今年度も34件の申請をいただきました。皆様への入金は、プログラム実施後の報告が全て揃いましてから一括手続きをとりますので、ご報告の期日をお守りいただきますようお願いいたします。お困りのことがあれば遠慮なくお尋ねください。皆様のご理解とご協力をお願いするとともに、コロナウィルスの感染も落ち着き、予定通り全てのプログラムが成功裏に終わりますことを祈念いたします。よろしくお願いいたします。



地区資金推進小委員会委員長
福間達也

今年度、資金推進小委員会委員長を拝命致しました松江しんじ湖ロータリークラブの福間達也と申します。

資金推進小委員会は地区における財団への募金活動と、寄付者の表彰や認証を管理、監督します。地区の募金活動に応じて柔軟に構成できる小委員会です。

ロータリー財団の活動はロータリアンとロータリー支援者の方々からのご寄付で可能となり、地元や世界の要望に応じ、地域や国際社会へ大きく貢献しています。

石倉貞昭ガバナーの地区重点目標はポリオ根絶への協力として、ポリオプラスへの寄付30米ドル/人ロータリー財団への支援として、年次基金への寄付150米ドル/人等となっております。この目標に向かい達成するためにも皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



地区財団資金管理小委員会委員長
持田朝子

今年度、地区財団資金管理小委員会委員長を務めさせていただきます松江しんじ湖

RCの持田朝子です。

入会直後にコロナウィルスの影響で活動が制限され、勉強不足のまま委員長という大役を受けることとなりました。このコロナ感染症も5月に5類へ移行となりましたので、活動も活発化して行くことを念頭に、皆さまからのご寄付で成り立っております大切な資金を適正に運用出来るように連携を取り、そして石倉ガバナーの地区スローガン「希望の種を播きましょう。育てましょう」をモットーに真摯に取り組んで参りたいと思います。

一年間、どうぞよろしくお願いいたします。



地区ポリオ小委員会委員長
小林幹久

今年度、地区ポリオプラス小委員会委員長を務めさせていただきます松江しんじ湖RCの小林幹久と申します。

本年度RI会長、ゴードンR・マッキナリー氏も「ポリオ根絶」を最優先事項の目標に掲げられていますがポリオ根絶への足踏み状態が続いている今、世界の子供たちを脅かす流行が発生する前にポリオ根絶できる希望を生み出せるように皆さんの力が必要です。と仰っています。

「世界ポリオデー」に向けて、当地区全クラブでポリオ根絶に関わるイベントを開催いただくように呼びかけます。と同時にポリオプラスへの寄付、寄付ゼロクラブをゼロを目指すことを積極的に推し進め、皆様の思いを一層高めていただけますよう当活動へのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

[VOL.2 表紙]

葛飾北斎
ひゃくものがり
《百物語 さらやしき》

天保二〜三年(1831〜32)頃、
錦絵(多色摺木版画)、
島根県立美術館蔵



「百物語」とは江戸時代に庶民の間で流行した怪談会で、これをシリーズ名に冠した北斎の化物絵が

5図知られています。本作品はその内の1図で、主家秘蔵の皿を割った罪で井戸に投げ込まれた「お菊さん」の亡霊が、夜な夜な悲しげに皿の枚数を数える怪談・『皿屋敷』を題材としたもの。よく見ると、お菊さんの首が事件の発端となった「皿」で表され、目尻の下がった少し間のびた面貌表現など、不気味さの中にも北斎らしいユーモアを感じさせます。



出雲の國の箱庭
牡丹と雲州人蔘の里

由志園



地区大会 エクスカーションの紹介

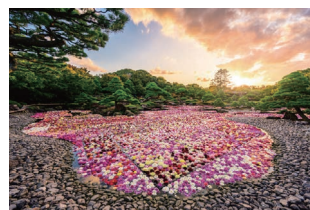
波静かな中海に浮かぶ大根島(松江市八束町)にある「日本庭園 由志園」は、松平不昧公の茶の湯の文化が息づくこの地に「和」「寂」「趣」「彩」というコンセプトのもと、八年の歳月を費やして作庭されました。牡丹・花菖蒲・紅葉・寒牡丹など、四季折々の花々と緑に彩られた山陰最大級の池泉回遊式日本庭園をご体感ください。

国際ロータリー2690地区大会が開催される時には

池泉に浮かぶ
10万輪のダリア
「池泉天竺牡丹」

のイベント開催中

【開催期間】
2023.10.14～11.5



松江の食文化

出雲そば

玄そばの挽きぐるみのそば粉を使用。
色が黒っぽく、香りが高い!



出雲独特「釜揚げそば」



3段重ねそば「割子そば」

宍道湖七珍

スズキ
モロゲエビ
ウナギ
アマサギ(ワカサギ)
シラウオ
コイ
シジミ



名称の頭文字をとって「スモウアシコシ(相撲足腰)」と覚えます。

あご野焼き



旬のあご(トビウオ)をすり身にして、じっくり焼き上げた大きなちくわ。

茶の湯の文化



松江は京都、金沢と並ぶ「日本三大菓子処」。市民の中に深く根付いています。

松江の観光



国宝松江城



ぐるっと松江堀川めぐり(堀川遊覧船)

第2690地区 地区大会記念事業

ミュージカル「あいと地球と競売人」

令和5年10月15日(日) 11時開演 場所: 島根県民会館大ホール

初演より30年、県民参加型ミュージカルとして参加者4千人、観客数5万人の実績を持ち、SDGs運動のトップランナーとして、日本は元より世界をターゲットに公演活動を展開中。原作「地球の秘密」のラストメッセージは次の言葉で締めくくられている。

“この本を作って、私はアフリカや東南アジアの人のことを考えました。東南アジアなどでは、私より年下ぐらいの子でも、働いています。勉強もできなくてかわいそうです。そういうことがなくなるには、戦争をなくしたりすることが必要だと思います。私は学校へ行って勉強ができるし、帰る家があって幸せです。私はもっと勉強して、富める国や貧しい国の差を無くしたいです。私は医者になって、いろいろな人の命を助けたいと思います。これは環境についてなんだけれど、私一人ぐらいの考えはやめようと思います。それを世界中の人がすれば、一発で地球はだめになると思います。みんなで協力しあって、美しい地球ができればいいです。”

作者の名前は坪田愛華さん。(出雲市出身)
この作品を完成させた数時間後に脳内出血で倒れ、わずか12歳の短い生涯を閉じる。あたかも自らの命と引き替える如くにこの作品は誕生した。小学校6年生の彼女が得た啓示こそ、私たちロータリアンの活動指針の「標」をなすものではなからうか。ぜひとも、多数のロータリアンに観劇いただきたい。



原作者 坪田愛華さんと「地球の秘密」



国際ロータリークラブ第2690地区
石倉貞昭地区ガバナー事務所

〒690-0852 島根県松江市千鳥町 36 番地 宍道湖しみ館
TEL: 0852-26-2690 FAX: 0852-26-2691
E-mail: ishikura2690@theia.ocn.ne.jp
https://ri2690.org

